



ぽっぽ屋



輸送サービス労組 東京支部

2023.12.16
No. 050

繰り返される水害から守るために作られた首都圏外郭水路

首都圏外郭放水路とは・・・

首都圏外郭放水路は、大雨による都市型水害から首都圏を守る目的で設置された施設で、延長約 6.3 kmと世界最大級の地下放水路です。

埼玉県東部・足立区・葛飾区・江戸川区を流れ豪雨時に水位が下がりにくく氾濫する危険性が高い中川や、周辺の倉松川・幸松川・大落古利根川・18号水路から首都圏外郭放水路を通して洪水を江戸川に排水することができます。これまで140回以上(年平均7回)が稼働し、約1500億円以上の被害が軽減され、多くの命を救っています。

～見学編～

想定外は想定できない。
過去の経験から
安全は成り立っている。

「経験と理解を深める」
鉄道の安全だけでなく
防災にも通じる。

私たちは継続して

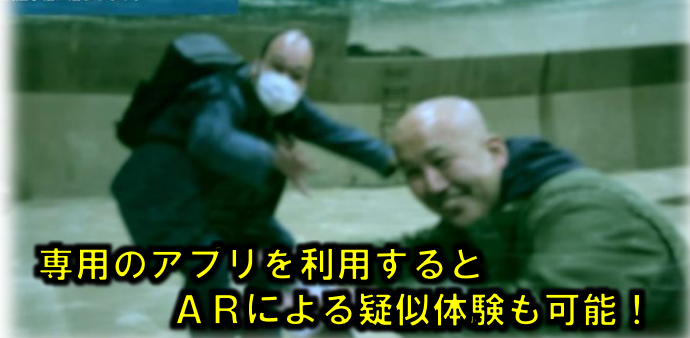
防災の取り組みを

続けていく。



調圧水槽は
長さ177m、幅78m、高さ18m
まさにその姿は「地下神殿」

雨が降って中小河川からあふれた水が立坑に流れ込み、放水路を通して調圧水槽に溜まります。



専用のアプリを利用すると
ARによる疑似体験も可能！



放水路のメカニズムに食い入る参加者！